

令和7年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

第2回幹事会

開催日時 令和7年12月24日（水）14：00～16：00

開催場所 四日市商工会議所 3階大会議室（オンライン併用）

1 議事次第

- ・議題 第1号 今年度のスケジュールについて……………資料1
- ・議題 第2号 令和7年度スマートシティ実装化支援事業の進捗報告……………資料2
- ・議題 第3号 ワーキンググループ（WG）の実施報告……………資料3、4

2 各議題の説明

議題 第1号 今年度のスケジュールについて

今年度のスケジュール案を状況に合わせて更新しております。詳細は資料1をご参照ください。

議題 第2号 令和7年度スマートシティ実装化支援事業の進捗報告

前回幹事会以降、スマートシティ実装化支援事業の進捗について説明します。詳細は資料2をご参照ください。

議題 第3号 ワーキンググループ（WG）の実施報告

前回幹事会以降、データプラットフォームWG及びモビリティWGを各々1回開催いたしました。WGの実施状況についてご説明します。詳細は資料3、資料4をご参照ください。

3 資料

資料0：令和7年度第2回幹事会次第（本紙）

資料1：今年度のスケジュールについて

資料2：スマートシティ実装化支援事業の進捗状況について

資料3：データプラットフォームWGの実施状況について

資料4：モビリティWGの実施状況について

別添1：出席者名簿

別添2：席次表

以上

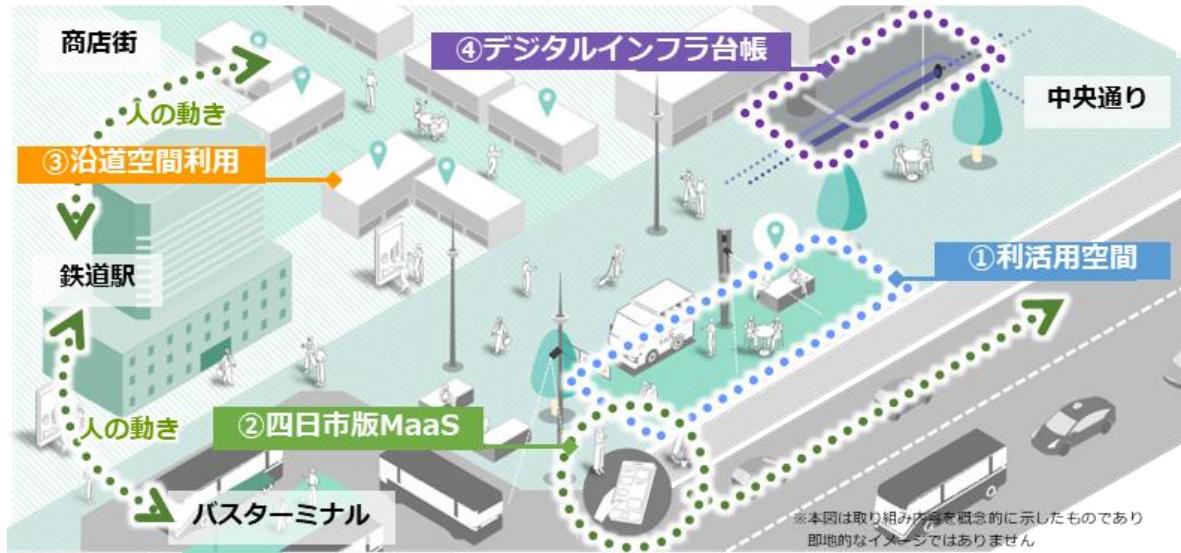
■R7年度のスケジュールについて

		令和7（2025）年度										現時点				
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
0. 定例会議（市+NS+各事業者）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
1. 四日市SRC推進協議会																
幹事会				第1回幹事会 8/7					第2回幹事会 12/24			第3回幹事会				
データプラットフォームWG			● 第1回 7/31						● 第2回 12/16			● 第3回（予定）				
モビリティWG			● 第1回 7/29						● 第2回 12/18			● 第3回（予定）				
2. SC実装化支援事業に係る報告（国交省）		実験計画書提出 (6月末)		(適宜実施)				中間報告 (1月末予定)		最終報告 (3月半ば予定)						
3. SC実装化支援事業																
①利活用空間活性化ツールの構築	R7	データ可視化サービスの効果検証	サウンディング実施、ヒアリング内容精査			ヒアリング			サービス内容とりまとめ			報告書作成				
②四日市版MaaSの構築	R7	四日市版MaaSでのまち歩き促進サービスの効果検証	自動連係開発・コンテンツ制作とヒアリング先の決定と依頼						防災訓練と連動した周知・ヒアリング等			報告書作成				
③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	R6 補正	沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化	四日市版MaaSの情報拡大構築			事前検証			効果検証のためのワークショップ実施			報告書作成				
④3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築	R7	デジタルインフラ台帳の仕様および実装メリットの明確化	社会実験（1回目）			正式版システム（ドラフト）構築			調査項目検討			正式版システムの構築				
									社会実験（2回目）			報告書作成				
			デジタルインフラ台帳データの構築			実証実験、アンケート実施										
			マニュアル、ガイドラインの作成						報告書作成							

令和7年度
スマートシティ実装化支援事業の進捗について

令和7年12月
四日市スマートリージョン・コア推進協議会

スマートシティ実装化支援事業 取組概要



スマートシティポータルサイトを開設し、デジタルマップ上でスマートインフラ等にて取得した各種データを可視化



中央通り沿いの混雑状況や環境データを可視化するダッシュボード→



中央通り再編事業の波及効果を促進し、持続的・自律的なまちづくりを推進するスマートシティサービスの実装

四日市市では、中央通り再編事業等により中心市街地の活性化を進めている。その波及効果を促進しつつ、持続的・自律的なまちづくりを推進するスマートシティサービスの実装を目指し下記①～④の取り組みを進めている。

今年度は3か年の実証の最終年度にあたる。

①利活用空間活性化ツールの構築

中央通り（人通り・気候・道路の情報等）の状況がリアルタイムで分かり、イベントの促進に寄与する必要なデータが得られるサービスを構築

②四日市版MaaSの構築

歩行と公共交通機関での移動に付加価値を付け、まちなかの回遊性を促すサービスの構築

③沿道空間利用マネジメントシステムの構築

誰もがチャレンジできる場を提供するため、気軽に利用できる広場や歩道、空き店舗を可視化し、貸し借りができるサービスを構築

④デジタルインフラ台帳の構築

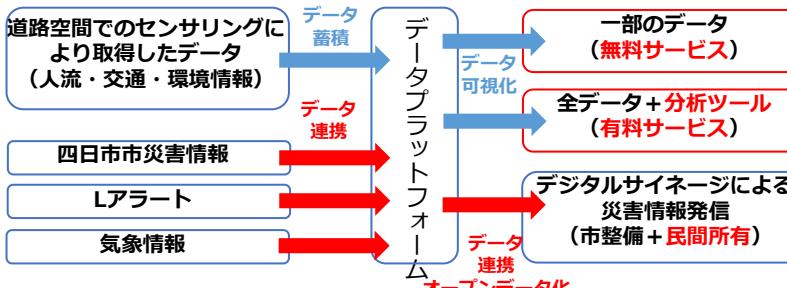
沿道の土地利用を促進するため、開発にかかる関係者間の調整を支援するサービスを構築

スマートシティ実装化支援事業 各取組の概要

①

利活用空間活性化ツールの構築
(R7年度)

■実験で検証したい仮説及び実証実験内容と実証方法

データ可視化サービスの効果検証(R7年度)	
仮説	<ul style="list-style-type: none"> 運用体制を明確化し、データ販売を見据えたデータ提供についてのサービスのマネタイズにより、持続的な運営に繋がる。 災害時情報伝達機能の充実により、防災力向上に加え、サービスの認知度向上につながる。
持続的な運営のためのデータ提供方法について実証	
	<p>データ収益化を見据え、下図に記載している有料サービスの実証を行う。有料サービスとしての付加価値として、AIを用いた過去のデータ分析ツールを導入し、ユーザーのニーズに応えたデータを提供する。</p> <p>※AIによる過去のデータ分析ツール(人流予想)は開発元の事情により、来年度(R8年度)以降の実施を予定。</p>
データ可視化サービスに災害時情報伝達機能を追加し、災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法を実証	
実証の概要	<p>公式災害情報等とのデータ連携を行い、データプラットフォームを介してデータをオープン化し、民間所有のデジタルサイネージでの災害情報発信を実証する。</p>  <pre> graph LR A[道路空間でのセンサリングにより取得したデータ (人流・交通・環境情報)] -- "データ蓄積" --> B[データプラットフォーム] B -- "データ可視化" --> C[一部のデータ (無料サービス)] B -- "データ可視化" --> D[全データ+分析ツール (有料サービス)] E[四日市市災害情報] -- "データ連携" --> B F[Lアラート] -- "データ連携" --> B G[気象情報] -- "データ連携" --> B B -- "データ連携 オープンデータ化" --> H[デジタルサイネージによる 災害情報発信 (市整備+民間所有)] </pre>
実証方法	<p>1)利活用空間利用者等に対するデータ提供実証実験を実施</p> <p>蓄積された人流および混雑度のデータについて、不動産開発事業者、広告代理店事業者、都市関連研究所を活用ニーズの高いターゲットとして仮定し、どのようにサービス提供するのかを検討した上で、データ可視化サービスのパッケージ(案)を作成。ターゲット及びデータプラットフォームワーキング参加団体等に対し、パッケージ案を提示しながら、データの有用性やデータ可視化サービスの価格設定についてアンケートを実施する。</p> <p>2)災害情報コンテンツ効果検証を実施</p> <p>直ちに避難を要する災害情報を自動で提供し、事業者へオープンデータ化された災害情報の活用方法を周知する。</p> <p>また民間事業者に対し、保有のサイネージとの連携方法(APIなど)や費用を提示し、アンケートを実施。事業者保有サイネージとの親和性や連携手順についての課題を抽出する。</p>

事業① 利活用空間活性化ツールの構築

KPI、スケジュール

■KPI

検証項目	検証方法	目標(KPI)	概要
データ可視化サービスの効果検証	データ検証実証実験(アンケート調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・5段階評価でデータの市場価値があるとのターゲットとする不動産開発事業者、広告代理店事業者、都市関連研究所及び民間事業者20以上にアンケート調査を実施※ 	
	災害情報連携の水平展開の可能性調査(アンケート調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共・民間が管理するデジタルサイネージを対象として、導入コスト(超概算)及び技術面の課題等を提示したうえで、災害情報連携の可能性があるとの回答を被験者の5割以上から得る 	中心市街地の範囲において、デジタルサイネージを所有または今後整備予定の公共機関及び民間企業にアンケート調査を行う(サイネージ10箇所程度を想定)

※アンケート内容については、サービスのマネタイズのシナリオ(ターゲット、データの組み合わせ例等)とKPIも含めて検討中

■スケジュール

項目	令和7（2025）年度																																						
	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月				
週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			
1. 地域事業者等へ対するデータ有用性のニーズ調査					●				●				●				●				●				●				●				●						
					サウンディング実施				ヒアリング内容の精査とマネタイズシナリオの見直し				ヒアリング				サービス内容のとりまとめ				報告書完成																		
2. 災害情報コンテンツを利用した自動連携の開発と実装					●				●				●				●				●				●				●				●						
					・自動連携開発・コンテンツ制作とヒアリング先の決定と依頼				・市危機管理部門とコンテンツ及び連携データ項目調整				公共機関が保有するサイネージへの実装(市民公園サイネージ)				・アンケート項目策定及びニーズ調査				調査とりまとめ				報告書完成														
3. 自動連携する災害情報コンテンツの利活用ニーズ調査および普及展開																					●				●				●				●						

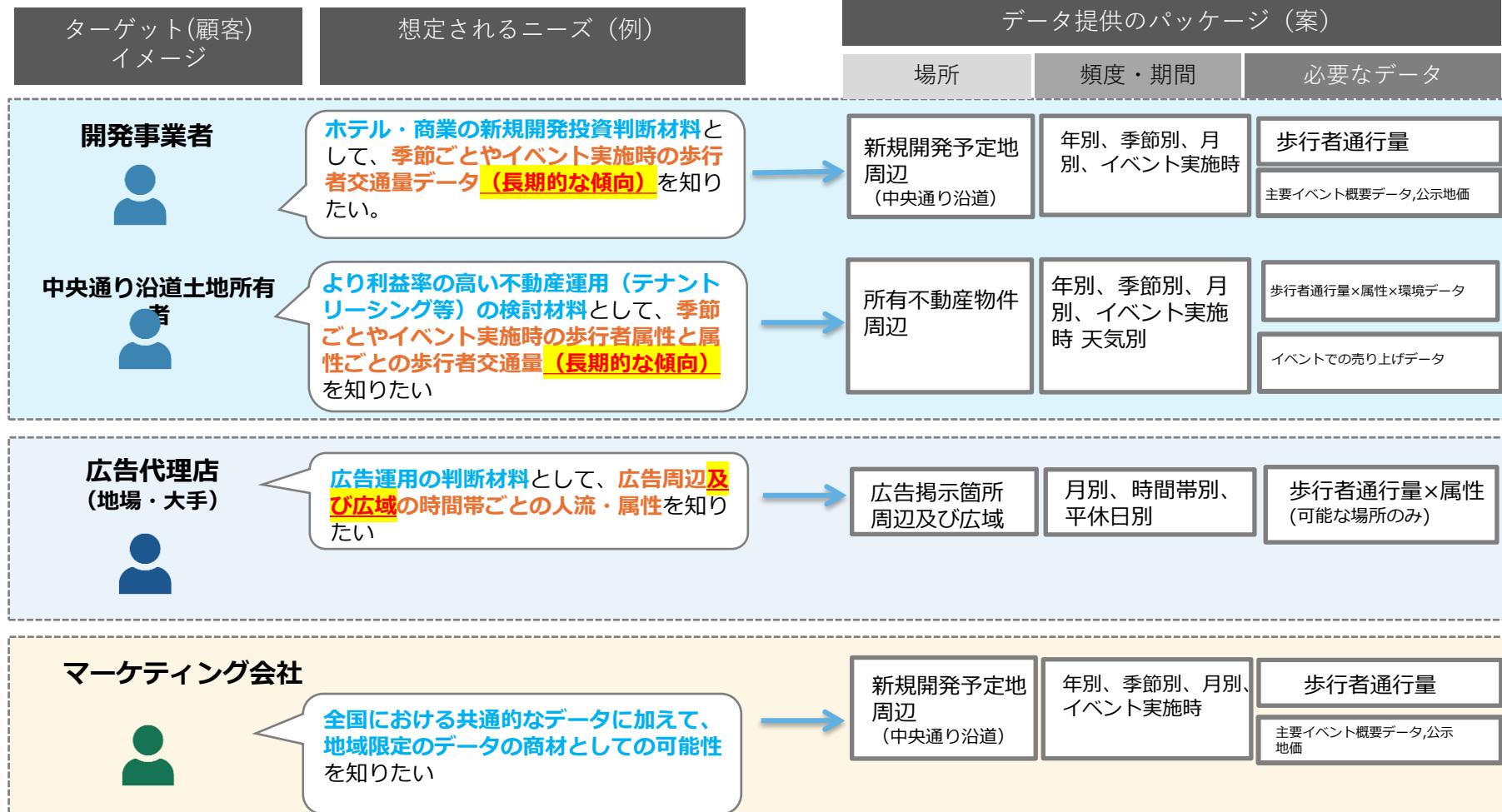
事業① 利活用空間活性化ツールの構築

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【アンケート調査による可視化ダッシュボードの市場ニーズ調査】

市内事業者など20社以上にアンケートを実施

データのマネタイズに係るシナリオ



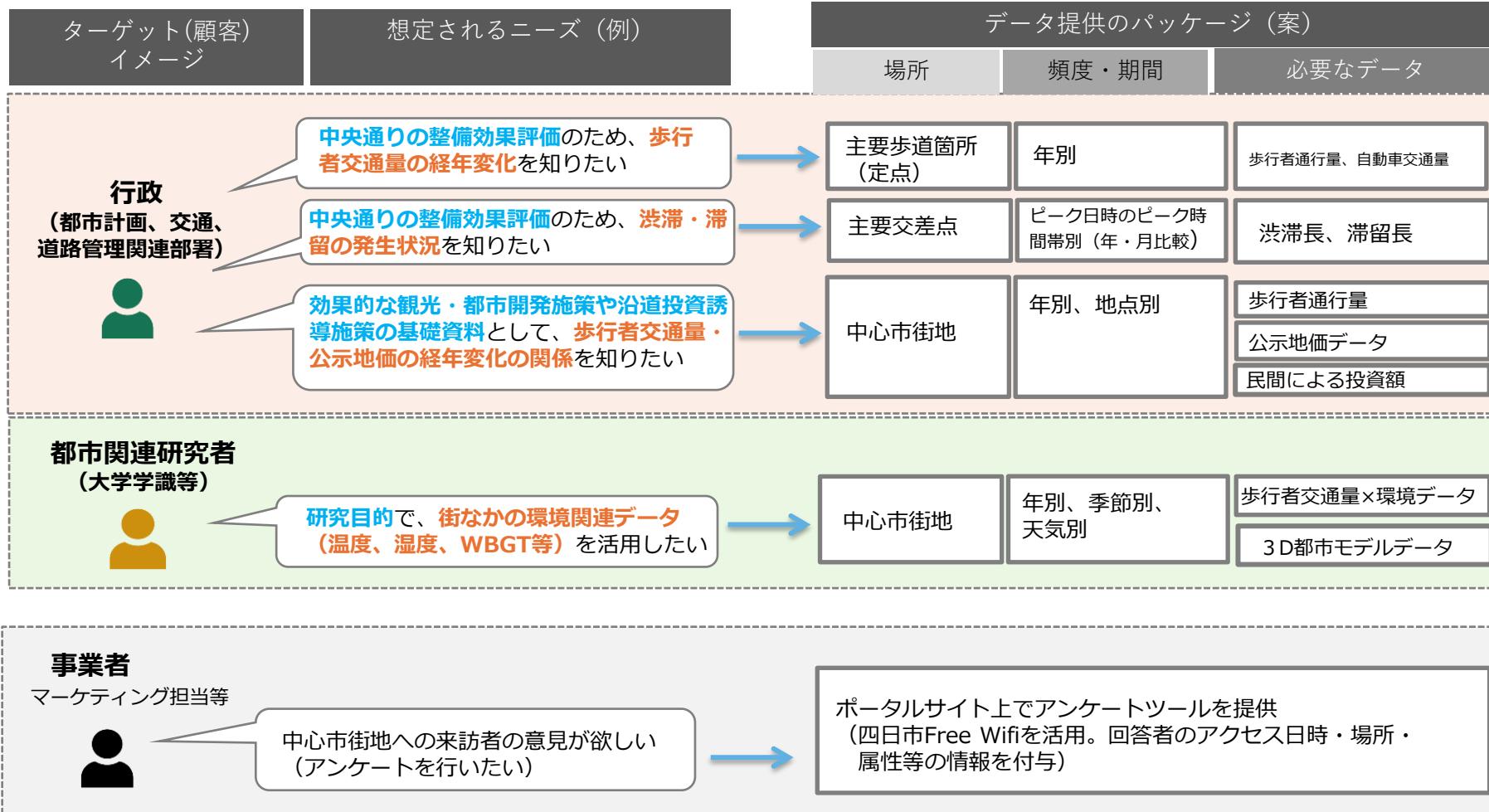
事業① 利活用空間活性化ツールの構築

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【アンケート調査による可視化ダッシュボードの市場ニーズ調査】

市内事業者など20社以上にアンケートを実施

データのマネタイズに係るシナリオ



持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【不動産開発事業者向けダッシュボードパッケージ（案）】

人流×気温可視化ダッシュボード

想定する効果：人流×気温データ利活用価値について不動産業界では下記の複数分析的・戦略的価値があると考えます。

1. 立地評価

- 例) 夏場や猛暑日に入流が大きく減るエリア → 日陰や冷却設備がないなど「快適性の低さ」が示唆される。
一方、気温が高くても入流が維持される場所 → 屋内施設・商業施設・地下街など、
快適性の高い立地が推測できる。

2. 商業施設・住宅開発の企画判断

- 開発段階で「年間を通じて集客が安定する立地」かどうかを評価可能。

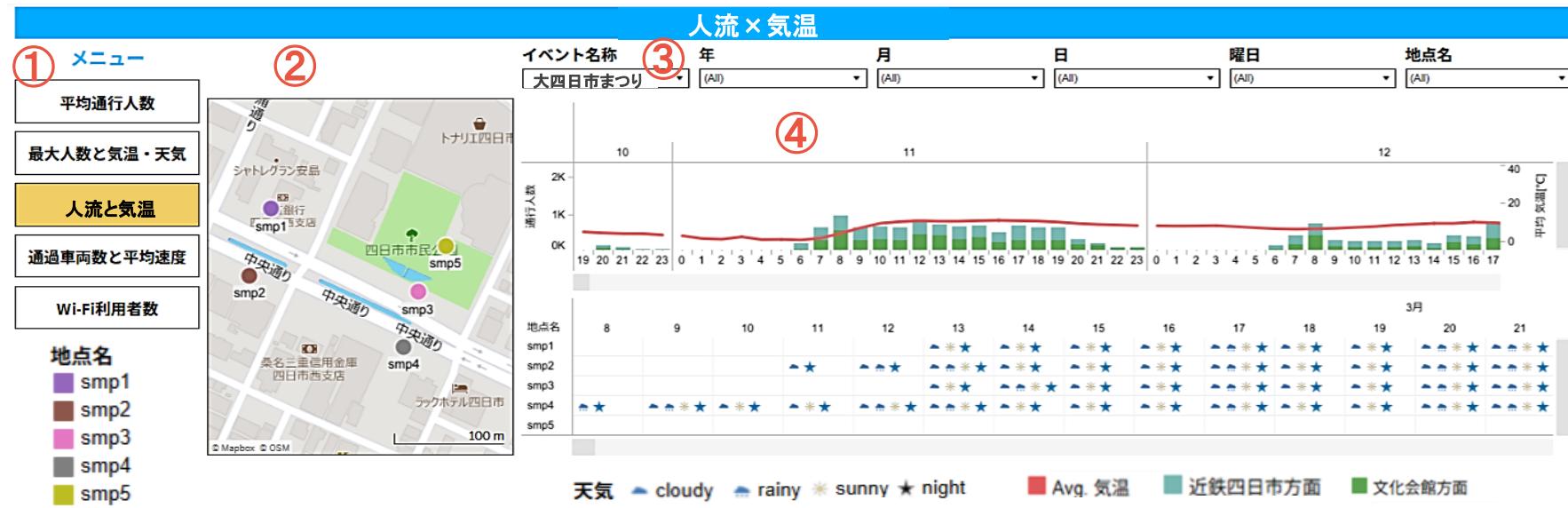
3. テナント誘致・店舗戦略

- 夏や冬など季節要因で来訪が減る立地では、
- カフェや屋内アクティビティ系テナントの誘致
 - 日除け・ミスト設備などの環境改善
- といった対策を検討できます。
- 来街者数の気温依存性を把握することで、季節変動リスクを織り込んだテナント戦略が立てられます。

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【不動産開発事業者向けダッシュボードパッケージ（案）】

人流×気温可視化ダッシュボード 画面イメージ



①サービスメニュー

収集している様々なデータを分析するための標準メニューとなります。
人流×気温以外にもWi-Fi利用者数では公衆Wi-Fi利用者数や利用者の年代、性別での利用者割合も可視化しています。

②データ収集ポイント

AIカメラの緯度・経度をもとに地図で表現します。
地点を選択することで、他のグラフ、表にフィルタがかかります。

③分析対象日時の指定

分析するための条件設定を行います。
条件はイベント名、年月日を選択することで、表にフィルタがかかります。

④平均通行人數

上段：近鉄四日市駅方面と文化会館方面の平均人數を指定した条件に基づきに表形式で表現します。
下段：指定した年月日での時間毎の天候を表現しています。

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【不動産開発事業者向けダッシュボードパッケージ（案）】

人流×気温可視化ダッシュボード 将来構想（次年度順次検討予定）

さらなる利活用の想定「人流×気温×AI（将来予測）」

AIを用いることで、過去データからパターンを学習し、将来の来訪者数や行動傾向を予測 も検討中です。これにより単なる統計分析を超えて、[不動産価値や開発判断に直結するインサイト](#)を提供します。

1. 商業立地・開発計画の精緻化

将来の人流量を高精度に予測することで「商業施設の最適立地選定」「投資リスク評価（ROI試算）」が可能となります。

2. テナント運営・賃料戦略

「繁忙期／閑散期の賃料変動リスク」や「集客ピーク予測による販促最適化」も実現できます。

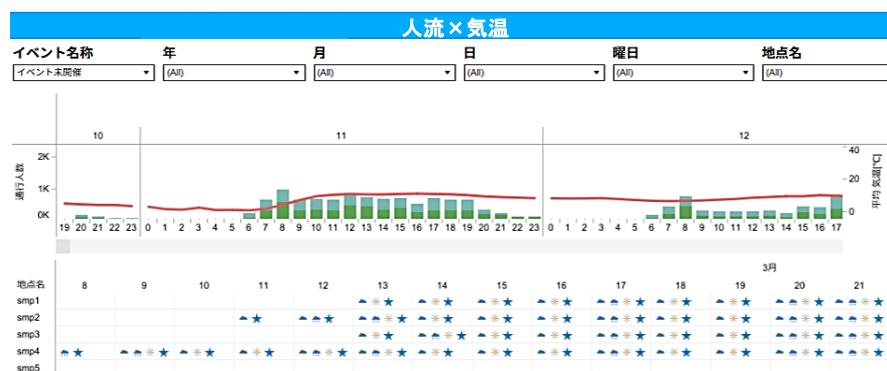
例：暑い時期に人流が落ち込む → AIが冷房効果のある店舗タイプを推奨。

人流回復が見込まれる時期 → テナント契約更新・広告出稿の最適タイミングを提案。

3. 居住需要・地価変動の長期予測

人流と気温の関係性から「居住快適性指標」をAIで算出可能。

中長期の地価上昇・人口流入予測モデルを構築できます。



AI活用でイベントの
来場人数予測を算出



持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【広告代理店事業者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】 通行人数×属性可視化ダッシュボード

想定する効果：通行人数×属性データ利活用価値について広告代理店では下記の複数分析的・戦略的価値があると考えます。

1. ターゲット層の「実際の出現状況」を把握できる

- ・広告想定のターゲット層（例：20～30代女性）が、どの時間帯・どの場所に多く出現するかを把握できます。
これにより、広告出稿エリア・時間帯の最適化が可能になります。

2. 媒体価値（OOH・屋外広告）の可視化

- ・デジタルサイネージや駅構内ポスターなどの広告接触機会を、実際の通行人属性と連動して算出できる。
- ・「どんな人がどれくらい見るか」を示すことで、媒体価値を定量的にクライアントへ説明できます。

3. 地域特性・商圈分析に活用できる

性別や年代別に人流を分析すると、エリアの「来訪者タイプ」が分かる。

例：昼は30代女性が多い → カフェ広告が有効

夜は男性サラリーマン層が多い → 居酒屋広告が有効

店舗開発や販促エリアのターゲティング精度を高められます。

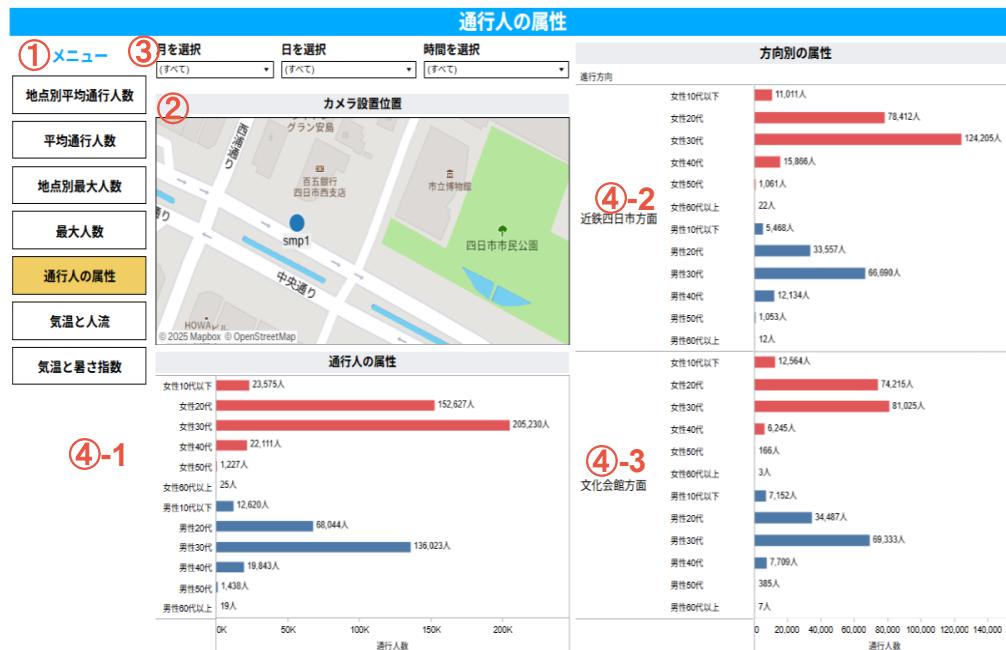
4. 時間帯・季節要因との掛け合わせによる行動パターン分析

「平日昼は主婦層が多く、休日はファミリー層が増える」といった行動変動の把握が可能。
イベントやキャンペーンのタイミング設計に役立ちます。

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【広告代理店事業者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】

通行人数×属性可視化ダッシュボード 画面イメージ



①サービスメニュー

収集している様々なデータを分析するための標準メニューとなります。

通行人の属性以外にもWi-Fi利用者数では公衆Wi-Fi利用者数や利用者の年代、性別での利用者割合も可視化しています。

②データ収集ポイント

AIカメラの緯度・経度をもとに地図で表現します。地点を選択することで、他のグラフ、表にフィルタがかかります。

③分析対象日時の指定

分析するための条件設定を行います。

条件はイベント名、年月日を選択することで、表にフィルタがかかります。

④通行人集計グラフ

④-1 「近鉄四日市方面」「文化会館方面」の総人数の属性別通行者人数を表現しています。

④-2 「近鉄四日市方面」の総人数の属性別通行者人数を表現しています。

④-3 「文化会館方面」の総人数の属性別通行者人数を表現しています。

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【広告代理店事業者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】

通行人数×属性可視化ダッシュボード 将来構想（次年度順次検討予定）

さらなる利活用の想定「通行人属性×AI（将来予測）」「混雑度×AI（将来予測）」

AIを用いることで、過去データからパターンを学習し、将来の通行人属性や混雑度などの行動傾向を予測も検討中です。これにより単なる統計分析を超えて、**クライアントのマーケティング成果を最大化するための戦略的武器**になります。

1. 「過去の人流」から「未来の行動」へ—提案価値の転換

- ・予測型マーケティングパートナーへ進化

2. 広告効果の最大化と無駄配信の削減

- ・AIが「特定ターゲット層の出現確率」を予測すれば、
→ 广告配信のタイミング・場所を事前最適化できる。

3. マーケティングPDCAの高速化

予測モデルにより、リアルタイムでターゲット来訪動向の変化を検知し配信スケジュールの再設計クリエイティブの切り替えが可能になる。



AI活用でイベントの
混雑予測、来場者属性予測



持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【都市関連研究者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】

人流量×気温、通行車両台数×気温ダッシュボード

都市開発による環境変化の研究に用いられるデータパッケージ

ヒートアイランド現象を評価する指標として「人流量」と「気温データ」を活用

なぜ「人流量 × 気温」が重要なのか？

観点	意義	補足説明
① 都市構造との関係可視化	人が集まる場所の熱環境評価	駅周辺・繁華街など高人流地域での気温傾向を捉えることで「どこに施策が必要か」を判断しやすくなる
② ヒートストレス評価	熱中症リスクの推定	人が密集しているエリアで高温状況が続く場合、熱ストレスの指標（WBGTなど）導入によるリスク評価に発展できる
③ 対策効果の検証	緑化・遮熱舗装などの評価	対策前後の「人流量と気温の関係変化」から、都市環境改善施策の効果を検証できる

具体的にどう活用できるのか？

1. 時間帯別分析

例：昼休みや夕方の帰宅時間帯に人流が急増
→局所的に気温が上昇していないかを確認。

2. 空間比較

例：人流が同程度でも、樹木があるエリア vs コンクリート舗装のみのエリアで気温差を比較
→都市設計への示唆。

参考)

現在保有している環境データ
 観測要素) 気温／湿度／気圧／風向／風速／日射／感雨／雨量
 統計処理) 気温／湿度／現地気圧／海面気圧／平均風速（10分間）／
 最大瞬間風速／最大瞬間風速時風向／日射／感雨／区間雨量／
 時間雨量／降水強度／連続雨量／実行雨量／現在天気
 ／簡易WBGT

追加検討可能な環境データ
 観測要素) PM2.5、CO2排出量

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【都市関連研究者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】

人流量×気温、通行車両数×気温ダッシュボード



●サービスメニュー

①カメラ設置位置

AIカメラの緯度・経度をもとに地図で表現します。
地点を選択することで、他のグラフ、表にフィルタがかかります。

②曜日別通行人数

近鉄四日市駅方面と文化会館方面の平均人数を曜日別に表形式で表現します。

曜日を選択することで、表にフィルタがかかります。

③平均通行人数

平日(上図)、土日(下図)でそれぞれ近鉄四日市駅方面と文化会館方面の平均人数を縦軸、時間を横軸にした棒グラフ形式と平均人数を時間別で表した表形式で表現します。

●サービスメニュー

①車両カウント設置位置

交差点の通過車両カウントの位置を地図で表現します。

②渋滞検知カメラ設置位置

渋滞検知を行っている位置を地図で表現します。

③交差点の通過車両数

交差点の通過車両数、気温を縦軸、時間を横軸にした積み上げの棒グラフで表現します。

④平均速度

車両の平均速度を縦軸、時間を横軸にした折れ線グラフで表現します。

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について 【アンケート項目】

1. 貴社・貴団体の企業名を教えてください。 <input type="checkbox"/> 小売 <input type="checkbox"/> 金融 <input type="checkbox"/> 不動産 <input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 飲食 <input type="checkbox"/> 広告 <input type="checkbox"/> 交通 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> その他_____
2. 貴社・貴団体の業種を教えてください。
3. 貴社の従業員規模を教えてください。
4. 貴社の売上規模を教えてください。
5. ご自身の所属部署を教えてください。
6. 現在、貴社では人流・交通・気象データを活用していますか。 <input type="checkbox"/> 活用している <input type="checkbox"/> 試験的に活用している <input type="checkbox"/> 検討中である <input type="checkbox"/> 検討も活用もしていない <input type="checkbox"/> わからない
7. 「活用している」または「試験的に活用している」「検討中である」の方へ、活用中または検討中のデータの種類を教えてください。 <input type="checkbox"/> 通行人データ <input type="checkbox"/> 人の属性データ（年代・性別など） <input type="checkbox"/> 滞留データ（特定スポットでの滞在時間など） <input type="checkbox"/> 車両交通量・渋滞データ <input type="checkbox"/> 気象・気温・日射データ <input type="checkbox"/> その他
8. 「活用している」または「試験的に活用している」「検討中である」の方へ、主な目的は何ですか。 <input type="checkbox"/> 販促最適化 <input type="checkbox"/> 出展戦略 <input type="checkbox"/> 需要予測 <input type="checkbox"/> 災害対策 <input type="checkbox"/> 運行計画 <input type="checkbox"/> 広告効果測定 <input type="checkbox"/> その他
9. 人流・交通・気象データを利用する場合、主にどの業務で活用したいですか。 <input type="checkbox"/> 広告・販促 <input type="checkbox"/> 出店・物流計画 <input type="checkbox"/> 人員配置 <input type="checkbox"/> イベント企画 <input type="checkbox"/> 災害・気候対策 <input type="checkbox"/> 環境施策 <input type="checkbox"/> その他
10. ビジネスでの戦略立案、マーケティングなどにおいて人流・交通・気象データ以外にどのようなデータが有益だと思いますか。 <input type="checkbox"/> POSレジデータ <input type="checkbox"/> OECサイトデータ <input type="checkbox"/> クレジット決済データ <input type="checkbox"/> 公衆Wi-Fi利用者属性データ <input type="checkbox"/> サイネージ閲覧者属性データ <input type="checkbox"/> SNS投稿データ（飲食の口コミなど） <input type="checkbox"/> 観光データ（来訪者数、宿泊者数、滞在時間） <input type="checkbox"/> その他
11. データ活用レベルの自己評価をお聞かせください。 <input type="checkbox"/> 非常に活用している <input type="checkbox"/> ある程度活用している <input type="checkbox"/> 少し活用している <input type="checkbox"/> あまり活用していない <input type="checkbox"/> 全く活用していない
12. データを活用した収益化の可能性があると思う分野をお聞かせください。 <input type="checkbox"/> 広告効果測定/OOH広告の販売最適化(屋外での広告効果の指標) <input type="checkbox"/> 商圈分析・店舗立地戦略支援(新店舗やキッチンカー候補地の指標) <input type="checkbox"/> 不動産価値・回遊性評価(不動産価格の価値を測る指標) <input type="checkbox"/> 都市開発・スマートシティ関連の共同研究(都市開発における環境への影響研究など) <input type="checkbox"/> 観光動態・イベント分析(イベント時の年代・性別などのターゲット分析) <input type="checkbox"/> その他
13. データを購入・共同利用する場合、想定する月額コスト感をお聞かせください。 <input type="checkbox"/> ～5万円 <input type="checkbox"/> 5～20万円 <input type="checkbox"/> 50万円以上 <input type="checkbox"/> 案件・期間による
14. データ活用における課題をお聞かせください。 <input type="checkbox"/> データの取得コストが高い <input type="checkbox"/> 分析リソースが不足している <input type="checkbox"/> 有効な活用事例が少ない <input type="checkbox"/> プライバシー・個人情報の懸念 <input type="checkbox"/> データの頻度・更新頻度に不安 <input type="checkbox"/> その他
15. 今後どのような支援や情報提供があればデータ活用が進むと思いますか。
16. 現在、貴社が抱える業界特有のデータ課題やニーズをお聞かせください。
17. 今後、データサービス提供企業に期待するサポート・機能はありますか。

事業① 利活用空間活性化ツールの構築

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

アンケート調査実施先

①ターゲット事業者

ターゲット企業	対象者	回答状況
不動産開発事業者	三交不動産	回答済み
	ダイワハウス	回答待ち
広告代理店	アド近鉄 公益社 長田広告 アビグローバル	回答待ち 回答済み 回答済み 回答済み
都市関連研究者	東京大学 村山教授	回答済み
	武藏大学 庄司先生	回答済み
臨海部企業	東ソー	回答待ち
マーケティング会社（大手）	ゼンリンマーケティング ソリューションズ	12月23日予定
行政	市各部署（デジタル戦略課）	回答済み
事業者（マーケティング担当）	近畿日本鉄道株式会社 近鉄グループホールディングス株式会社	回答済み

②データプラットフォームワーキング参加団体等 ※12/16時点で回答済みの団体

株式会社三十三銀行	福井県立大学地域経済研究所
加賀電子株式会社	ひまわりネットワーク株式会社
TOPPAN株式会社（3部署）	（一社）四日市観光協会
TOPPANグラフィックコミュニケーションズ	西尾張シーエーティーヴィ株式会社
株式会社マクニカ	パナソニックコネクト株式会社
株式会社Kii company	株式会社アローズ
東海地所株式会社	株式会社ZTV
中部電力株式会社	株式会社中日アド企画
四日市商工会議所	有限会社 マミー不動産
パナソニックマーケティングジャパン（2部署）	日本トーター株式会社
日本事務器株式会社（2部署）	Rox3Gaming

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【速報値】※2025年12月16日時点でのまとめ

◆データ活用状況

- ・市場全体として「**活用意向はあるが、実装は進んでいない**」層が多く見られた

◆活用・検討されているデータの種類

- ・人流×交通×気象は都市・商業・防災・広告・小売での利用価値が直結しやすいため理解が進んでいる。
- ・**大学の研究機関は、可視化されたダッシュボードではなく生のデータベースとの直接連携を求められる**ケースが多かった

◆活用目的

- ・活用目的は「収益向上型（マーケティング／販促）」、「効率化型（オペレーション改善）」に大別される。

◆収益化が見込める分野

- ・収益化余地は「人の動きに売上が連動する業界」を中心

◆データ購入の月額コスト感

- ・定額制の利用料形態においては、5万円以内という回答が多かった
- ・**定額制を求める事業者よりも出店検討時期など一時的なデータ利用としてスポット利用料としてのサービスを求める事業者が半数を占めた**
- ・アンケート収集時のヒアリングで大学の研究機関は、学生が利用する場合はアカデミックパスによる割引や無償提供を求められるケースもあった
- ・**大学の研究機関では、2日間の気象データを収集するために100万円近く研究費を投資する場合もある**

◆データ活用の課題

- ・データの読み解きが難しい
- ・**費用対効果の説明が難しい**（社内説得が大変）
- ・データソースが複数あり統合できない
- ・人材不足

◆今後ほしい支援

- ・**AI分析、未来予測機能**
- ・**実際に利用されている事業者の利用事例（ユースケース）の提示**
- ・操作方法、分析手法のレクチャー
- ・自社業界向けのカスタム分析レポート
- ・APIでのシステム統合支援
- ・費用対効果の試算モデル

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について

【今後の予定】

- ◆ターゲット企業（回答待ち）及び市内事業者などサンプリング収集活動（12月中旬）
- ◆アンケート最終集計（12月下旬まで）
- ◆データ可視化サービスモデルとりまとめ（12月中）

災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法について

目的



中央通り来街者の緊急安全確保の実現

概要



来訪者を対象に緊急性の高い災害情報をオープンデータ化し
中央通りに公共機関及び民間事業者が整備したサイネージとの
システム連携を強化する。

整備内容



R6年度

- ・市民公園サイネージ整備
- ・サイネージを活用した災害時の即的な
情報伝達実験の実施

完了

R7年度

- ・緊急性の高い災害情報のオープンデータ化
- ・公共機関が保有する市民公園サイネージと
災害情報連携
- ・中央通り周辺事業者へのニーズ調査

効果



即時に避難行動を促進できる

- ・駅前、商業施設、イベント会場など、人が密集するエリアは混乱しやすい。
- ・スマホに気づかない、バッテリー切れ、通信障害の場合でも目に入る形で情報を届けられる。
- ・通常の防災無線よりも視覚的で、気づきやすい。
→ 災害時に「情報の気づき格差」を大きく減らせる。

ピンポイントの避難誘導

- ・サイネージが設置されている位置に応じて、**最も近い安全な避難場所**を特定し表示できる。
- ・津波等の災害種別に応じて、適切な避難方法を案内可能。
→ 「何をすればいいか迷う時間」を最小化。

災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法について

R6年度振り返り

災害時を想定した即時的な情報提供を行う情報伝達実験

コンテンツの見栄えの精度向上と避難場所までの市民のスマホを利用した情報伝達実験を行った。

(1) 実験エリア・実施日時

【実施日時】2024/11/21(木)11:00～12:00、2024/11/22(金)11:00～12:00
※ニワミチ社会実験と同時期



実際に設置状況



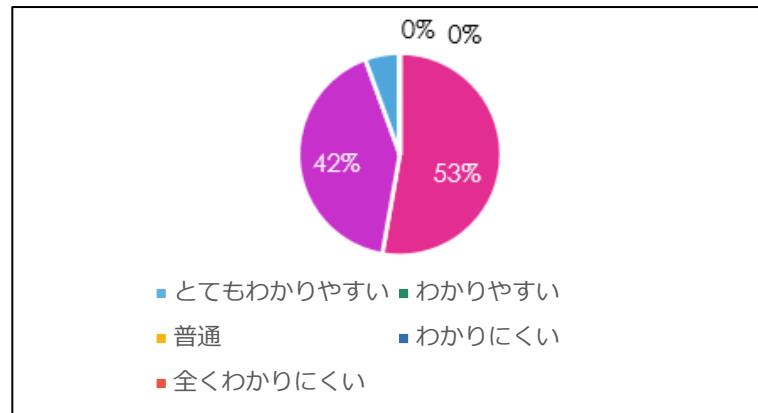
社会実験の様子①



社会実験の様②



社会実験の様③



災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法について

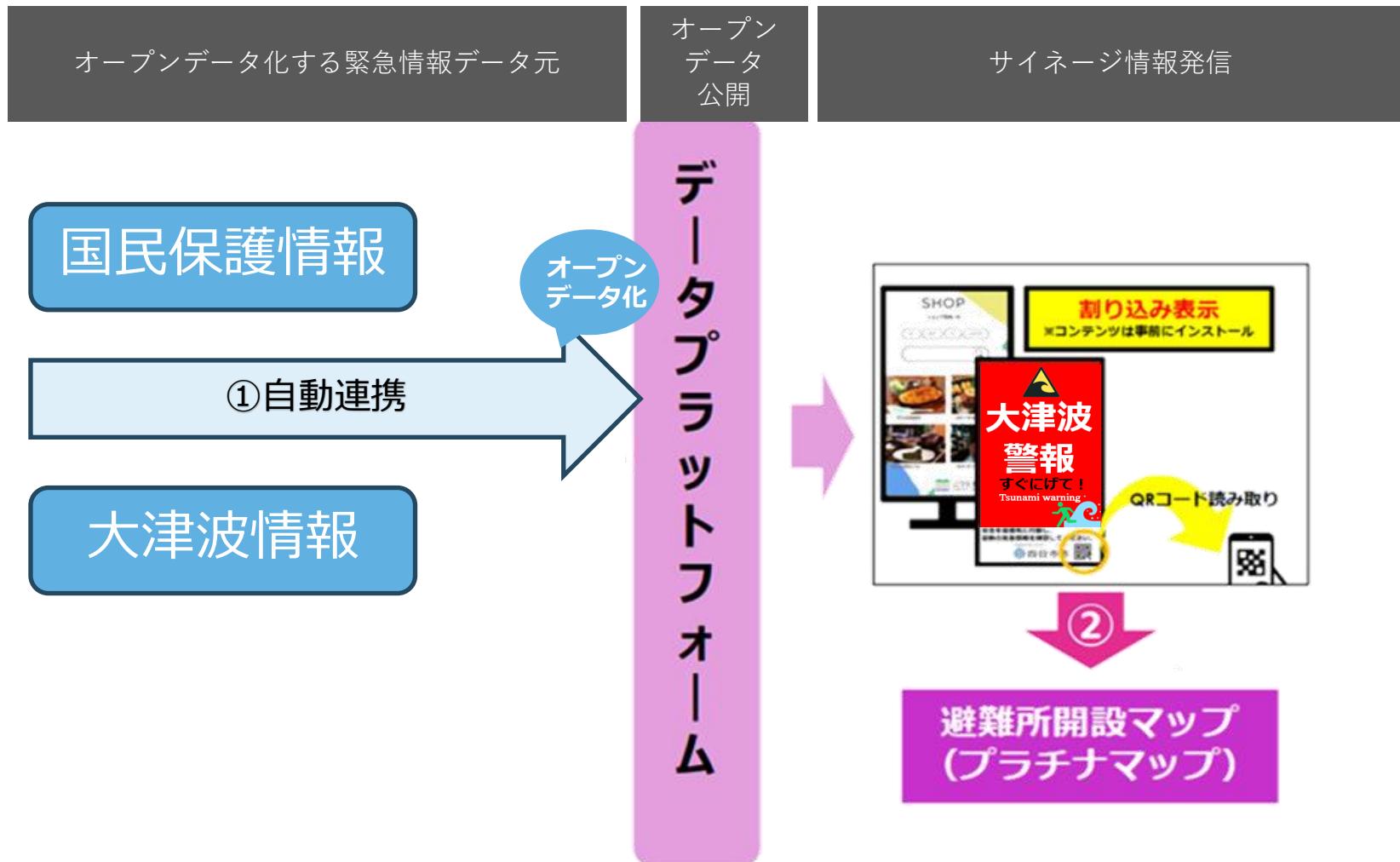
【四日市市危機管理課と災害時情報項目及びシステム仕様について検討】

緊急災害情報 伝達方法（案）



災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法について

【システム概念図】



災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法について

【データ連携サイネージ表示項目（案）】

今年度データプラットフォームにオープンデータとして連携する緊急情報は、来街者に瞬時に避難行動をとる必要がある項目に特化して検討

連携開始時の表示について

全画面表示とし、差し込みコンテンツを流す。

- ▶ オープンデータ化する緊急情報の種類
 - ① 国民保護情報（ミサイル発射情報）
 - ② 大津波警報（東日本大震災クラス）

検討したが適さない項目

▶ 緊急情報の種類

- ① 竜巻注意情報（三重県北中部）
* 地域をこれ以上絞れない
- ② 地震情報
* 事後情報のみ。



災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法について

【危機管理課からの要望】

- ・コンテンツについて、大津波に対する避難行動としては、西（山側）に逃がしたい。
- ・ミサイルは、避難場所の指定はなく強固な建物の中への避難行動を誘導したい。
- ・コンテンツでの案内は、多言語対応したい。
→日本語,英語,中国語,スペイン語,ベトナム語,ポルトガル語
- ・コンテンツだけでなくL字放送のような文字情報がテロップで流れるとなお良い。



つ なみ じょう ほう
津波情報



**津波がきます
すぐにげて！**

A tsunami is coming.
Escape immediately!

つ なみ じょう ほう
津波情報



**津波がきます
すぐにげて！**

海嘯来襲, 立即逃走!
海嘯來襲, 立即逃走!

つ なみ じょう ほう
津波情報



**津波がきます
すぐにげて！**

Se acerca un tsunami,
huye inmediatamente!

つ なみ じょう ほう
津波情報



**津波がきます
すぐにげて！**

Sóng thần sắp đến, hãy
chạy ngay lập tức!

つ なみ じょう ほう
津波情報



**津波がきます
すぐにげて！**

Um tsunami está
chegando, fuja
imediatamente!

事業① 利活用空間活性化ツールの構築

災害時情報のオープン化および適切な災害情報伝達方法について 【今後の予定】

1. 情報発信コンテンツ関連
 - ・緊急災害情報コンテンツの見直し（12月中）
2. 緊急災害情報データプラットフォーム連携（オープンデータ化）及び
市民公園サイネージ連携（12月システム開発キックオフ）
3. 中央通り周辺事業者へのニーズ調査
 - ・アンケート項目策定／ニーズ調査実施（12月中旬から1月初旬）
 - ・アンケート取りまとめ（1月中）

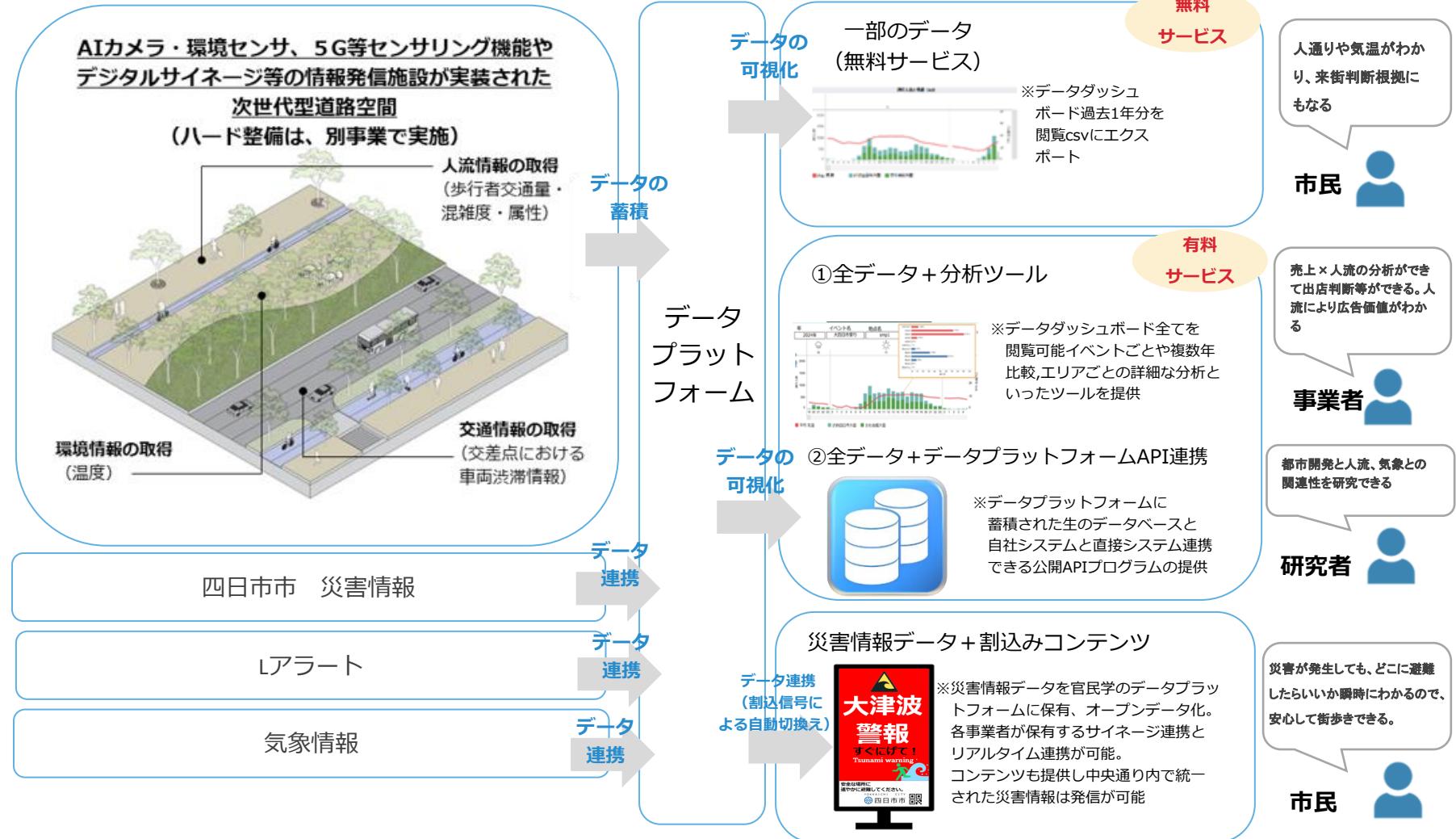


ニーズ調査ヒアリング先
中央通り周辺サイネージ保有管理会社者

事業① 利活用空間活性化ツールの構築

■実装時に目指すサービスのイメージ

AIカメラや環境センサ※により、利活用空間の人流・密度・属性・環境情報や交差点における車両の渋滞情報などをデータ取得し、ローカル5G※やデータプラットフォームを活用して、データ蓄積や可視化を行い、即時的な防災・交通情報等の緊急情報を発信するとともに、ポータルサイトとタッチパネル型デジタルサイネージを通じて、情報発信を行うサービスを開展（※別事業で整備）



スマートシティ実装化支援事業 各取組の概要

②

四日市版MaaSの検討 (R7年度)

四日市版MaaSにおける実装内容の最終検証(R7年度)

仮説

- ・四日市データプラットフォームと連携しMaaSデータを可視化するMaaSデータダッシュボードを構築することにより、潜在的なニーズや地域課題をデータから発見でき、PDCAを円滑に回すことが可能となり、今後のサービス改善に繋がる。
- ・ユーザーの目的地となるような提供情報を拡大することにより、サービスの利便性が向上し、システム利用者数と施設利用者数の増加につながる。

1) MaaSデータダッシュボードの有用性に関する実証

四日市データプラットフォームと連携したMaaSに関するデータを、分析・可視化するダッシュボードを構築した上で、想定ユーザーに試行してもらう利用者調査を行う。試行後、ユーザーインターフェースや継続利用性についてのアンケートを行い、その有用性を検証する。

実証の概要

2) 既存情報(駐車場)の拡充と新規情報(駐輪場・公共施設情報等)の追加による四日市スマートシティポータルサイトへのアクセス数増加を検証

駐車場満空情報を提供する駐車場数の追加を行うとともに、駐輪場、公共施設(ベンチ等)の新規情報を追加し、四日市スマートシティポータルサイト内に構築した四日市デジタルマップへのアクセス数の増加傾向を検証する。

3) 四日市版MaaSを通じた「こにゅうどうレンタサイクル」サービスの提供によるレンタサイクル利用者数の増加を検証

四日市デジタルマップ上に、こにゅうどうレンタサイクルのスポット追加を行うとともに、告知等を行い、施設利用者数の増加傾向を検証する。

実証方法

1) MaaSデータダッシュボードに関するアンケートを実施

想定されるユーザー(市役所関係部署、交通事業者、商工会議所等)にプロトタイプのダッシュボードを試行してもらい、そのユーザーインターフェースや継続利用性等の有用性についてアンケートを実施する。

2) 四日市デジタルマップへのアクセス数を計測

既存情報の拡充と新規情報の構築による影響を把握するため、取組実施前後における四日市デジタルマップへのアクセス数の推移を計測する。

3) 四日市版MaaSと連携したイベント時のこにゅうどうレンタサイクルの利用者数を計測

四日市版MaaS内で、BAURAミーティングおよび会場までレンタサイクルを利用したアクセス方法の告知等を行い、レンタサイクルの利用者が増加したかどうかを計測する。

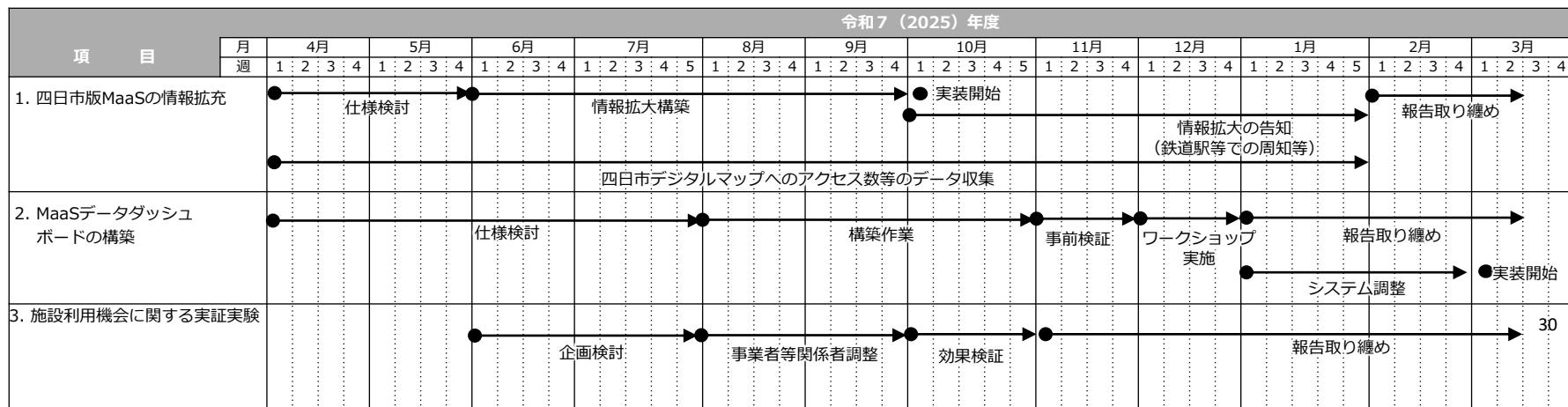
事業② 四日市版MaaSの構築

KPI、スケジュール

KPI

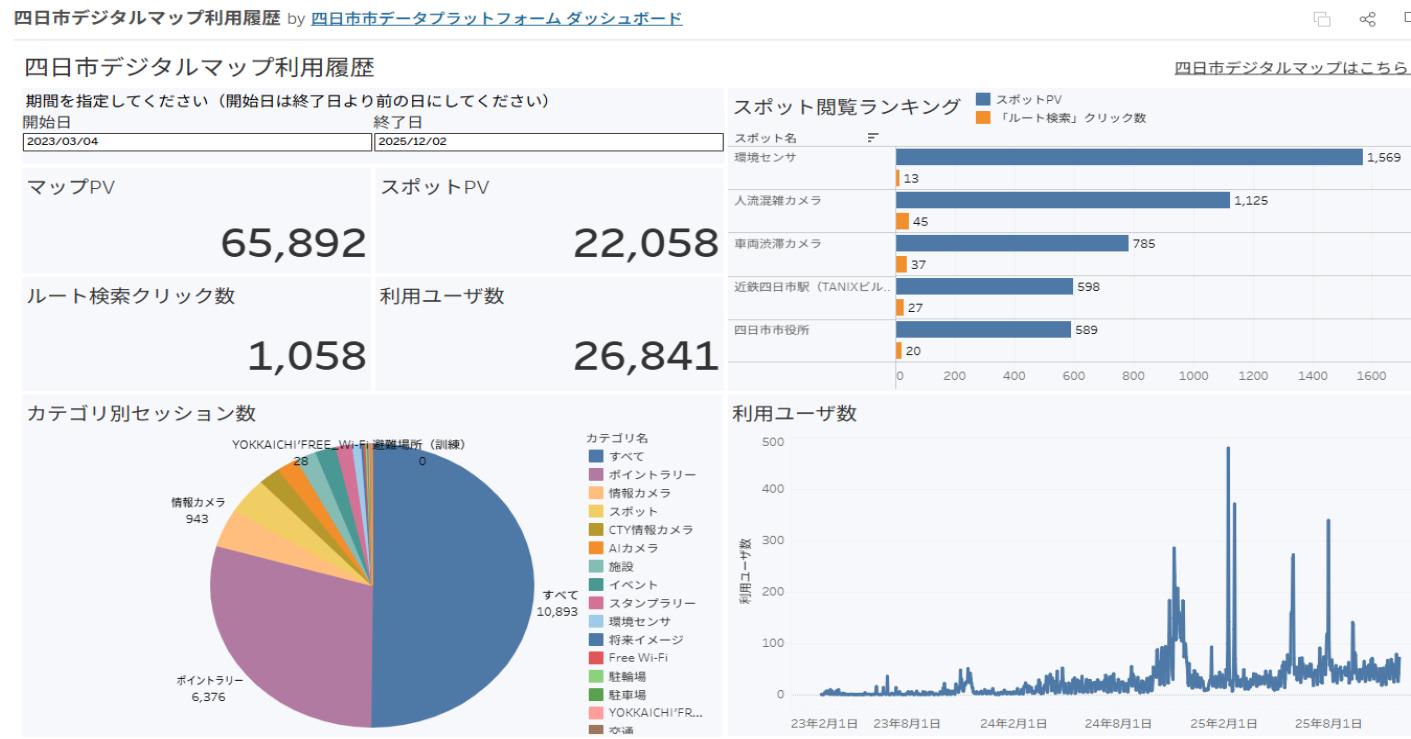
検証項目	検証方法	目標	概要
MaaSデータダッシュボードの有用性	アンケート調査	5段階評価で各カテゴリの設問に対して、5割以上が肯定的(スコア4以上)の回答 ・ユーザーインターフェースの観点 ・継続利用性の観点	MaaSデータダッシュボード利用者へのアンケート調査を実施
スマートシティポータルサイトへのアクセス数	四日市デジタルマップのアクセス数を計測	新規情報構築後のアクセス数が5,000件/月以上(2025年10月～2026年1月)	機能拡充と新規構築による四日市デジタルマップへのアクセス数と取り組み前後の推移を計測(R6年度では約4,000件/月)
四日市版MaaSの満足度	アンケート調査	5段階評価で各カテゴリの設問に対して、5割以上が肯定的(スコア4以上)の回答 ・ユーザーインターフェースの観点 ・有用性の観点	四日市デジタルマップ利用者へのアンケート調査を実施
施設利用者数	四日市版MaaS経由でこにゅうどうレンタサイクルを利用した人数を計測	前年度のイベント時の利用者と比較して、利用者が23人※増加(目標利用者数51人) ※前年度イベント来場者数(約2,300人)の1%、JR・近鉄側で相互利用可能なため、全体で23人増を目標	中心市街地で開催されるイベント時にゅうどうレンタサイクルの利用者数の増加傾向を計測 (前年度のイベント時の貸出台数28台)

■スケジュール



■ 1. MaaSデータダッシュボードの有用性

検証項目	検証方法	目標	概要
MaaSデータダッシュボードの有用性	アンケート調査	5段階評価で各カテゴリの設問に対して、5割以上が肯定的(スコア4以上)の回答 ・ユーザーインターフェースの観点 ・継続利用性の観点	MaaSデータダッシュボード利用者へのアンケート調査を実施



■ 1. MaaSデータダッシュボードの有用性

- ・アンケート

第2回モビリティWG内のワークショップで実施。

設問No	設問	回答方法	備考
1	ダッシュボードは四日市デジタルマップ利用者の傾向把握やデータの確認に対して使いやすいと思いますか？	以下から選択 (使いやすい/どちらかといえば使いやすい/どちらでもない/どちらかといえば使いにくい/使いにくい)	ダッシュボードの使いやすさに関する設問 (ユーザーインターフェースの観点)
2	提供されている情報はわかりやすく表示されていますか？	以下から選択 (わかりやすい/どちらかといえばわかりやすい/どちらでもない/どちらかといえばわかりにくい/わかりにくい)	ダッシュボードの情報のわかりやすさに関する設問 (ユーザーインターフェースの観点)
3	表示されているグラフや表は有用だと感じましたか？	以下から選択 (有用/どちらかといえば有用/どちらでもない/どちらかといえば有用ではない/有用ではない)	ダッシュボードの情報の有用性に関する設問 (ユーザーインターフェースの観点)
4	ダッシュボードのデザインやレイアウトについてどう思いましたか？	以下から選択 (満足/どちらかといえば満足/どちらでもない/どちらかといえば不満/不満)	ダッシュボードの情報の見やすさに関する設問 (ユーザーインターフェースの観点)
5	このダッシュボードを再度利用したいと思いますか？	以下から選択 (利用したい/どちらかといえば利用したい/どちらでもない/どちらかといえば利用したくない/利用したくない)	継続利用性の観点
6	ダッシュボードに追加して欲しい機能や情報があれば教えてください	自由記述	今後への参考にする設問
7	ダッシュボードの改善点や提案があればお聞かせください	自由記述	今後への参考にする設問

■3. 四日市版MaaSの満足度

検証項目	検証方法	目標	概要
四日市版MaaSの満足度	アンケート調査	5段階評価で各カテゴリの設問に対して、5割以上が肯定的(スコア4以上)の回答 ・ユーザーインターフェースの観点 ・有用性の観点	四日市デジタルマップ利用者へのアンケート調査を実施

・アンケート

12月実施の自動運転実証実験（別事業）のタイミングでMaaSの満足度に関する下記の項目を設定。

設問No	設問	回答方法	備考
1	四日市市デジタルマップを知ったきっかけは何ですか？	以下から選択 (自動運転実証実験チラシ/Web/SNS/口コミ/その他(自由記述))	利用促進の参考にする設問
2	四日市市デジタルマップは使いやすいと思いますか？(自動運転の運行情報等の表示)	以下から選択 (使いやすい/どちらかといえば使いやすい/どちらでもない/どちらかといえば使いにくい/使いにくい)	四日市版MaaSの使いやすさに関する設問 (ユーザーインターフェースの観点)
3	四日市市デジタルマップの情報(自動運転の運行情報等の表示)は、中心市街地のおでかけの際に役立つと思いますか？	以下から選択 (そう思う/ややそう思う/どちらともいえない/あまりそう思わない/全くそう思わない)	四日市版MaaSの有用性を評価するための設問
4	中心市街地のおでかけに役立つ情報とは具体的に何ですか？	以下から複数選択 (公共交通情報(バス時刻表等)/自動運転運行情報/イベント情報/観光資源情報/公共施設情報(ベンチ)/その他)	設問3で「そう思う」「ややそう思う」と回答した人のみ対象の設問
5	追加してほしい機能や情報、改善点はありますか？	自由記述	今後への参考にする設問

■4. 施設利用者の増加

検証項目	検証方法	目標	概要
施設利用者数の増加	こにゅうどうレンタサイクルの利用者数を計測	前年度のイベント時の利用者と比較して、利用者が23人 ※増加(目標利用者数51人) ※前年度イベント来場者数(約2,300人)の1%、JR・近鉄側で相互利用可能なため、全体で23人増を目標	中心市街地で開催されるイベント時に こにゅうどうレンタサイクルの利用者数の増加傾向を計測 (前年度のイベント時の貸出台数28台)

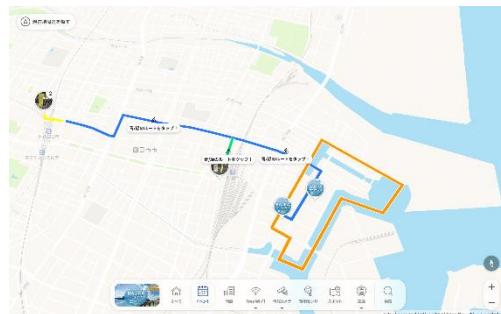
■効果検証概要

BAURAミーティング会場までレンタサイクルで行くような告知等を四日市デジタルマップ上で行い、レンタサイクルの利用者が増加したかどうかを計測する

①告知



②デジタルマップ上の情報反映



③利用者の増加検証



関係施設でのポスター掲示
Web・SNSでの告知

■4. 施設利用者の増加

■デジタルマップ上の情報反映

1. BAURAミーティングに関する情報

- ・スポット設置
 - BAURAミーティング会場
 - 会場周辺の駐輪場
- ・イベントバナー設置
- ・会場エリアの設置



2. こにゅうどうレンタサイクルに関する情報

- ・スポット設置
 - レンタサイクルポート近鉄
 - レンタサイクルポートJR
- ・ルート設置
 - レンタサイクルポート近鉄～BAURAミーティング会場
 - レンタサイクルポートJR～BAURAミーティング会場

■4. 施設利用者の増加

■結果

検証項目	検証方法	目標	概要	結果
施設利用者数の増加	こにゅうどうレンタサイクルの利用者数を計測	前年度のイベント時の利用者と比較して、利用者が23人※増加(目標利用者数51人) ※前年度イベント来場者数(約2,300人)の1%、JR・近鉄側で相互利用可能なため、全体で23人増を目指	中心市街地で開催されるイベント時のこにゅうどうレンタサイクルの利用者数の増加傾向を計測 (前年度のイベント時の貸出台数28台)	前年度のイベント時の利用者と比較して、利用者が9人※増加

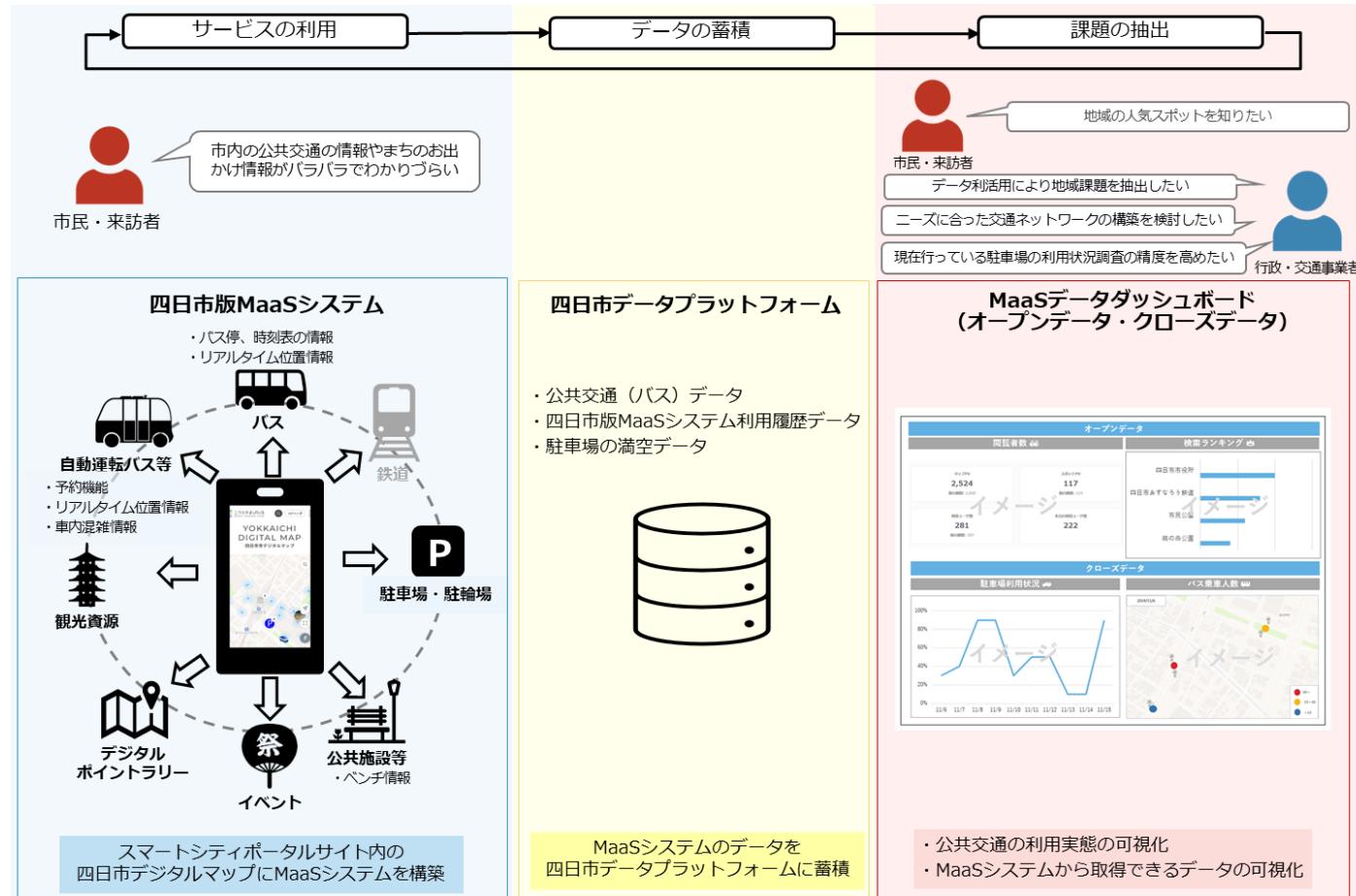
- 23人増加（51人の利用者数）の目標に対して、9人増加（37人の利用者数）で未達となった
- レンタサイクル利用者内訳
 - JR四日市駅15台
 - 一般12台
 - 電動3台
 - 近鉄四日市駅22台
 - 一般16台
 - 電動6台

※一時利用のみ利用者数としてカウント

事業② 四日市版MaaSの構築

■実装時に目指すサービスのイメージ

市民や来訪者向けに四日市市デジタルマップにMaaSシステムを構築することによって、中心市街地の回遊性や消費行動を促進させ、賑わいの創出に寄与する。加えて蓄積されたMaaSデータを利活用できるダッシュボード構築により、PDCAサイクルを早く回せる仕組みを構築



R6年度までの移動に関する情報（バスの時刻表、自動運転の位置情報等）や目的地までの経路探索に加えて、駐車場、観光資源、駐輪場、公共施設、イベントについて本年度拡充

➡ 一時的な利用ではなく、持続的に市民がアクセスしたくなるコンテンツの拡充、活用方法の検討を進める

- ・四日市デジタルマップ利用履歴
- ・バスの運行状況（平均遅延情報）の可視化
- ・公共交通の乗降データの可視化
- ・駐車場満空データ蓄積による使用率の可視化

➡ 構築したダッシュボードから今後のサービス改善につながる課題抽出を行う

スマートシティ実装化支援事業 各取組の概要

③

バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築
沿道空間活用マネジメントシステムの構築
(R6年度補正)

	沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化(R6年度補正)
仮説	<ul style="list-style-type: none"> 人流データ取得ポイント・活用実績の追加・3D都市モデル情報反映など、様々なサービス内容の拡張が、利活用空間ウェブサイトにおけるマッチング促進、中央通り沿い及び商店街の活性化につながる。
実証の概要	<p>2D地図への3D都市モデルの情報反映、エリアの拡大、システムのオープン化による効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> R6年度の成果を踏まえ、年度の前半を目途に、正式版(ドラフト)を構築。正式版(ドラフト)においては、さらなる利活用を促すために対象場所の空間情報に加え、周辺の環境情報を把握するために、3D都市モデルの画面を閲覧できるようにする。更に、サービス対象のオープン化、対象エリアを拡大、人流データ取得ポイント・予約状況・活用実績の追加などサービス内容の拡張を行う。 正式版(ドラフト)に対して、利用者へのヒアリング・アンケートを行い、マッチングを促進するための人流データの有用性、使用者評価情報の有用性の実証を行い、実証結果を踏まえ適宜システム更新を行った上で、正式版としてR7年度中にリリースする。
実証方法	<p>効果的な情報表示方法・使い勝手・中央通り沿い及び商店街の活性化への寄与についてのアンケートの実施</p> <p>3D都市モデルの情報を2D地図へ反映し、対象エリアについてサービス内容を正式版として構築した上で、実装後も中心的なシステム利用者の一部として想定される賑わい創出社会実験協力者および商店街関係者に対して、システムを試行してもらう。そのうえでアンケート調査およびヒアリングにより、効果的な表示方法、使い勝手、中央通り沿い及び商店街の活性化への寄与について実証を行う。</p>

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

KPI、スケジュール

■KPI

検証項目	検証方法	目標	概要
システム環境とユーザビリティの適正性の検証	商店街関係者および社会実験協力者へのアンケート・ヒアリング調査	5段階評価で7割以上の事業者がポジティブな評価	アンケート・ヒアリング調査により、利用者ニーズの反映、2D地図をもとにした3D都市モデルの一部利用、エリアの拡大、オープン化によるシステムの使い勝手の向上などの効果を検証する
システムによる商店街活性化の効果検証	商店街関係者および社会実験協力者へのアンケート・ヒアリング調査	システムを利用することによる商店街活性化への期待する回答が7割以上等	アンケート・ヒアリング調査により、システムの利用を通じたオープンスペースへの興味や積極的な利用への意欲の創出、中央通り沿い及び商店街の活性化への期待値の向上などの効果を検証する

■スケジュール

項目	令和7（2025）年度												
	月 週	4月 1 2 3 4	5月 1 2 3 4	6月 1 2 3 4	7月 1 2 3 4 5	8月 1 2 3 4	9月 1 2 3 4	10月 1 2 3 4 5	11月 1 2 3 4	12月 1 2 3 4	1月 1 2 3 4 5	2月 1 2 3 4	3月 1 2 3 4
社会実験スケジュール				● 社会実験1回目 5/31、6/1 10:00～18:00						● システム体験会			
1. 正式版システムの構築	●	R6年度の実証結果を踏まえた与件整理・システム改修案の作成		● 仕様調整	●	正式版システム（ドラフト）構築	●	●	●	● 実証実験③、④の結果を踏まえたシステム改修案の作成	●	正式版システムの構築	正式版システム実装開始
2. 対象エリアの発掘と空間情報の調査・整理			●	● 対象エリアの発掘	●	● 現地調査による空間情報の解明と整理							
3. システムの実証	●	● 調査項目の検討	●	● 実証実験① ヒアリング調査	●	● 実証実験② アンケート・ヒアリング調査		● 調査項目の検討	●	● アンケート・ヒアリング調査 (必要に応じて追加調査を実施)			
4. 報告書とりまとめ								● 目次・取り組み概要の整理等	●	● 取りまとめ			

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

トップページ

- ・レイアウト、表示順序を変更し、一目で何ができるサイトなのかをわかるように修正した。

”まちづかい・よっかいち”
まちを使いたい！と使ってほしい！を繋ぐサイトです！

まちを使いたい人はこちら
RESEARCHING FOR SPACE

中央通りの空間を使ってまちを盛り上げよう

四日市市の中央通りが歩行者中心の空間に生まれ変わります。その変化に際し、中央通り沿いで様々な活動ができる空間を提供いたします。
そして、利用可能空間と、空間を利用したい皆様を繋ぐ沿道空間マネジメントシステムを構築しました。
サイトを利用して、皆様で四日市市を盛り上げていきましょう。

イベントカレンダー 活用の様子



©四日市市・日建設計

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

トップページ

- ・空間予約状況や四日市市イベントをイベントカレンダーに掲載することとした。
- ・また、上記に伴い、管理者機能を追加した。

活用イメージ紹介



毎年秋に市民が中心となり開催する無料のジャンルレス音楽イベント。商店街の中の公園がメイン会場になることもあります。街と近く、街、世代間、ジャンル、人々が融合し盛り上がる。

四日市市の夏の風物詩「大四日市まつり」。大四日市パレードや市民綱引きなどの市民参加型の踊りだけでなく、市内のネリや山車など郷土の文化財と伝統芸能が披露される。

四日市市の人気スポーツ「スケートボード」を楽しめる仮設スケボーパークが登場。親子で楽しんだり、競技の練習をする若者も多く訪れる盛り上がりが溢れる。

イベントカレンダー

◀ 前の月
2025
次の月 ▶

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

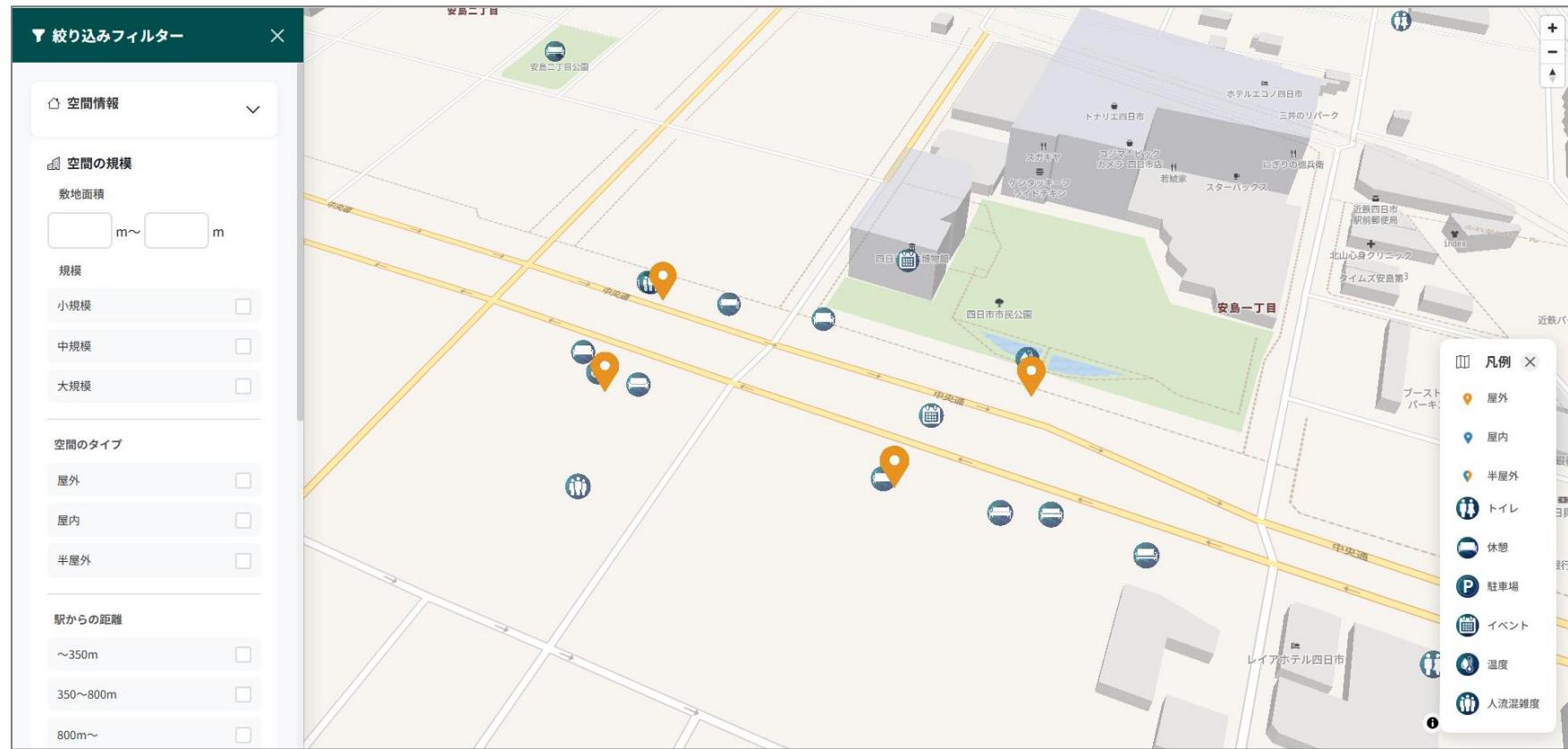
Copyright © 2025 四日市 エリアプラットフォーム. All Rights Reserved.

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

空間探しページ

- ・利活用空間のピンが見づらかったため、デザインを修正した。
- ・絞り込みが方法が分かりにくかったため、仕様を変更した。



事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

空間情報ポップアップ

- ・選択した利活用空間のピンの色が変わる仕様とした。
- ・利活用空間の様子を把握しやすくするために、3D活用イメージモデルや平面図を追加した。

▼ 絞り込みフィルター X

△ 空間情報

■ 空間の規模

敷地面積 m ~ m

規模

小規模

中規模

大規模

空間のタイプ

屋外

屋内

半屋外

3D活用イメージモデル

i 基本情報

3D活用イメージモデル

3D 1

設備

電気

活用例

物販 展示

平面図

円形デッキ上部

参加申請 フォーム

MapLibre | OpenStreetMap

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

空間情報ポップアップ>活用例

1. イベント概要	
イベント名	ニワミチJOYnt Park Days (イベント名をクリックすると当日のイベントの様子を動画でご覧いただけます)
イベント日時	2025年5月31日(土)、2025年6月1日(日)
主催者名	四日市市、一般社団法人 四日市観光協会
出展数	5月31日:22 6月1日:15
来場者数	5月31日:126 6月1日:103 ※滞留延べ人数(人・時間)
2. 出展概要	
出展名	伊藤ふあーむキッチン
出展形態	<input type="checkbox"/> パフォーマンス <input checked="" type="checkbox"/> キッチンカー <input type="checkbox"/> 物販 <input type="checkbox"/> その他()
利用者数	20
出展内容	モヒンガー(ミャンマー料理)
ピークタイム	正午
出展写真	
使用駐車場	噴水の南
駐車場から出展場所までの移動手段	キッチンカーのため駐車場の利用なし



3. 感想

近くにフードコートがあり、風も強い日だったので以前に別のイベントで出店した時よりはイマイチな売れ行き。市民公園の広場に人が集まる大きめのイベントがあれば、人は集まると思う。

- 利用者が過去の開催実績や、イベント時の空間の様子を把握できるようにするために、活用例を掲載した。

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

空間情報ポップアップ>3D活用イメージモデル
(3D都市ビューワへの反映が完了している4箇所の例、以下は市民公園前)



事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

空間情報ポップアップ>3D活用イメージモデル
(3D都市ビューワへの反映が完了していない5箇所の例、以下は円形デッキ)



事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

1.正式版システム（ドラフト）の構築について

管理者画面

- ・管理者画面からカレンダーの編集、利活用空間の追加・削除、空間情報の修正、活用例の追加・削除を可能とした。

The screenshot displays a 3D street view map of a city area, likely a town or city center, showing various buildings, roads, and green spaces. Overlaid on the map are several location markers, including blue icons representing people and orange pins indicating specific points of interest. To the right of the map is a detailed administrative interface.

管理機能 (Management Functions) - Admin

「百五銀行前」を編集 (Edit 'Hachi-go Ginko-mae')

TOP

百五銀行前 (Selected)

参加申請 フォーム (Participation Application Form)

画像の読み込み (Image Import): ファイルの選択 (File Selection) / ファイルが選択されていません (No file selected)

基本情報 (Basic Information):

3Dイメージ (3D Image): ファイルの選択 (File Selection) / ファイルが選択されていません (No file selected)

設備 (Facilities):
 水道
 電気
 音出し可
 Wifi

活用例 (Usage Examples):
 ワークショップ
ファイルの選択 (File Selection) / ファイルが選択されていません (No file selected)

物販 (Retail):
 ファイルの選択 (File Selection) / ファイルが選択されていません (No file selected)

2. システム体験会について

体験会概要

- ・ 日時: 2025年12月9日(火) 10:00～12:00
- ・ 会場 : 地場産業振興センター 研究室6
- ・ 参加者: 7名
→5月6月の社会実験参加者、3月のシステム体験会参加者、観光協会にメール案内／ニワミチよっかいちInstagram等にて告知
※今後、参加できなかった方向けにオンラインでのシステム体験を実施予定。また、市外事業者(大学各種サークルなど)向けのシステム体験を実施予定。
- ・ 当日の流れ:
①開会・挨拶(10分)

②本事業の内容とシステム概要(5分)
→システム開発の目的説明

③システム体験内容の説明(10分)
→本日の体験のゴールを共有(ゴール:参加申請フォームへの記入)
→アンケート回答方法の説明

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

現在の進捗

今後の予定

2. システム体験会について

体験会概要

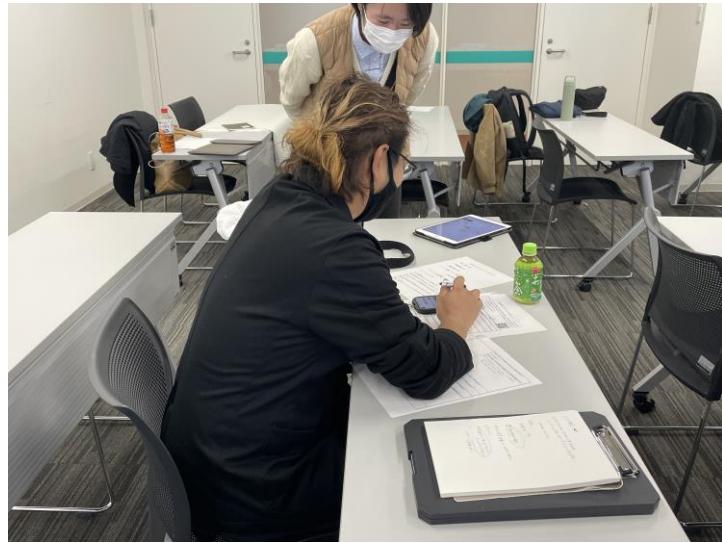
④システム体験及びアンケート記入(30分)

- システム操作(PC、スマホ、タブレット)
- アンケート記入

⑤意見交換会(40分)

- クルーフ分けした上で意見交換を実施
- 事前に用意したシステム名称への投票

⑦クロージング(5分)



スマートフォンを利用したシステム体験の様子



意見交換会の様子

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

2. システム体験会について

アンケート調査項目

- ・設定したKPIに基づき、アンケート調査項目を設定。

「沿道空間利活用マネジメントシステム」システム体験会アンケート

2025年12月9日(火)

「沿道空間利活用マネジメントシステム」は、今後進められる四日市市中央通りの再編において、公共空間の活用を支援するための空間マッチングシステムです。皆様からのアイデアを反映させるため、アンケートへのご協力をお願いいたします。該当する項目に✓を記入いただき、自由記述欄がある場合は()内にご記入ください。

*途中で退席される方は、右側に添付したQRコードからご回答ください。



質問	回答
O.回答者情報	
お名前をご記入ください	
店名をご記入ください	
出展内容をご記入ください	<input type="checkbox"/> パフォーマンス <input type="checkbox"/> キッチンカー <input type="checkbox"/> 物販 <input type="checkbox"/> その他()
市内・市外のどちらの事業者ですか。	<input type="checkbox"/> 市内の事業者 <input type="checkbox"/> 市外の事業者
1.ユーザビリティに関する評価	
1-1 体験会では、どの端末をご利用になりましたか。(複数回答可)	<input type="checkbox"/> スマートフォン <input type="checkbox"/> タブレット端末 <input type="checkbox"/> ノートパソコン <input type="checkbox"/> デスクトップパソコン
1-2 操作は全体としてスムーズだと感じましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
1-3 ご利用のネットワーク環境で問題なく使用できると感じましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
1-4 システムの使い方を直感的に理解しやすいと感じましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
1-5 表記されている言葉は分かりやすかったですか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない 「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、該当箇所を具体的にご記入ください。

	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、該当箇所を具体的にご記入ください。
1-6 文字は読みやすかったです。フォントや文字の大きさは適切でしたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
1-7 画面デザインや情報に統一感があると感じましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
1-8 必要な情報や機能に迷わずアクセス出来ましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、該当箇所を具体的にご記入ください。
1-9 ページのレイアウト(ボタンの位置など)は分かりやすいと感じましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
1-10 地図上の情報が何を示しているか理解しやすかったですですか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない

2. システム体験会について

アンケート調査項目

- ・設定したKPIに基づき、アンケート調査項目を設定。

2-4 空間を使って実施したい取り組みを思い描けましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
2-5 役に立ったと感じた情報と、その理由をご記入ください。(複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・トップページ <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>カレンダー(予約状況やイベントの予定) <input type="checkbox"/>活動の様子 ・地図ページ <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>地図 <input type="checkbox"/>空間の規模(面積・規模) <input type="checkbox"/>空間のタイプ <input type="checkbox"/>駅からの距離 <input type="checkbox"/>設備条件 <input type="checkbox"/>活用提案 <input type="checkbox"/>環境情報 <input type="checkbox"/>人流データ ・利活用空間のポップアップ <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>実空間の様子(上部写真・バース) <input type="checkbox"/>設備 <input type="checkbox"/>活用例 <input type="checkbox"/>平面図 <input type="checkbox"/>3D活用イメージモデル
2-6 3D活用イメージモデルは有用でしたか。	<p>活用例</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>出展数 <input type="checkbox"/>来場者数 <input type="checkbox"/>出展の様子 <input type="checkbox"/>搬入経路 <p>理由:</p>
2-7 人流データは有用でしたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
2-8 カレンダー(予約状況・イベント予定)は有用でしたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
2-9 活用実績の情報は有用でしたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない

	<p>・トップページ</p> <p><input type="checkbox"/>カレンダーを確認する <input type="checkbox"/>地図ページへ移動する <input type="checkbox"/>スクロールする</p> <p><input type="checkbox"/>その他()</p> <p>・地図ページ</p> <p><input type="checkbox"/>地図を動かす <input type="checkbox"/>絞り込みフィルタを展開する <input type="checkbox"/>空間情報による絞り込み</p> <p><input type="checkbox"/>環境情報による絞り込み</p> <p><input type="checkbox"/>その他()</p>
1-11 操作の中で、分かりにくい点や戸惑った点はありましたか。(複数回答可)	<p>・利活用空間のポップアップ</p> <p><input type="checkbox"/>3D活用イメージモデルのリンクを開く <input type="checkbox"/>参加申請フォームに移動する</p> <p><input type="checkbox"/>活用例を閲覧する</p> <p><input type="checkbox"/>その他()</p> <p>・活用例</p> <p><input type="checkbox"/>イベント名から当日の活動様子のリンクを開く</p> <p><input type="checkbox"/>その他()</p>
	<p>2.情報の有用性に関する評価</p>
2-1 出展を検討するにあたり、システム上の情報は十分に揃っていましたか。	<p><input type="checkbox"/>非常にそう思う <input type="checkbox"/>ややそう思う <input type="checkbox"/>どちらでもない <input type="checkbox"/>あまりそう思わない</p> <p><input type="checkbox"/>全くそう思わない</p> <p>「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、不足していると思う情報をご記入ください。</p>
2-2 地図上のピンの位置と詳細情報は一致していましたか。	<p><input type="checkbox"/>非常にそう思う <input type="checkbox"/>ややそう思う <input type="checkbox"/>どちらでもない <input type="checkbox"/>あまりそう思わない</p> <p><input type="checkbox"/>全くそう思わない</p>
2-3 会場レイアウトやスペースの把握に役立ちましたか。	<p><input type="checkbox"/>非常にそう思う <input type="checkbox"/>ややそう思う <input type="checkbox"/>どちらでもない <input type="checkbox"/>あまりそう思わない</p> <p><input type="checkbox"/>全くそう思わない</p>

2. システム体験会について

アンケート調査項目

- ・設定したKPIに基づき、アンケート調査項目を設定。

3.商店街活性化への効果に関する評価	
3-1 システム利用を通して、中央通りおよび沿道のオープンスペースを利用したいと思いま たか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	理由:
3-2 中央通り及び沿道のオープンスペースへ の興味は高まりましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	理由:
3-3 中央通り沿い及び商店街の活性化への期 待は高まりましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	理由:
3-4 今後の中央通り周辺及び商店街の活性化 に向けて、本ツールは有用だと感じましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	理由:

4.総合評価	
4-1 実装後、実際にこのシステムを利用したい と思いますか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	理由:
4-2 全体として、このシステムは使いやすいた 感じましたか。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	理由:
4-3 前回のシステムより使いやすくなりました か。	<input type="checkbox"/> 非常にそう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない
	理由:

ご回答、ありがとうございました。

事業③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

実装時のイメージ

■実装時に目指すサービスのイメージ

街路空間の再編で生まれる歩行者空間や低未利用地・空き店舗（民有地）など利活用可能なスペースを官民連携で一体的に取り扱うことで、“使いたい人”と“使ってほしい人”をつなげ、“より使われる空間”へ転換し、中心市街地の賑わいづくりを目指すサービスを展開

